

大崎広域リサイクルセンターの火災について

令和5年7月7日(金)午前 10 時頃、「大崎広域リサイクルセンター」において、不燃ごみ破碎処理設備の機械室で火災が発生しました。延焼したのは、破碎物を搬送するためのコンベヤ内のゴムベルトなどで、中央制御室でモニタ監視していた職員が発見し、職員数名のホース散水にて数分後に鎮火いたしました。火災の原因につきましては、不燃ごみを細かく砕くための破碎機内にリチウムイオン電池が入り込み発火したことが想定されます。

施設周辺の住民の皆さまをはじめ、圏域住民の皆さまには、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

なお、施設復旧まで数日の期間を要しますが、リサイクルセンターへの不燃ごみ等の受入れは、通常どおり行います。

今後、詳しい原因の調査を行いますが、圏域住民の皆さまには今回のような火災を防ぐためにも、発火の恐れがあるもの、特に充電式電池(リチウムイオン電池等)が含まれる製品については、正しく分別していただき、適正に廃棄していただきますよう改めてお願い申し上げます。

令和5年7月7日

大崎地域広域行政事務組合

管理者 大崎市長 伊藤 康志

<外部リンク>

[日本容器包装リサイクル協会 リチウムイオン電池等の発火物が原因になる発煙・発火トラブル](#)